

## 第 58 回京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事概要

- 1 日 時 令和 4 年 1 月 4 日（火）午後 2 時 45 分から午後 3 時 00 分まで
- 2 場 所 京都府職員福利厚生センター会議室
- 3 出席者 知事、山下副知事、古川副知事、鈴木副知事、企画理事兼商工労働観光部長、危機管理監、知事室長、職員長、総務部長、文化スポーツ部長、健康福祉部長、京都府議会事務局長、教育長、警察本部長、山城広域振興局長、南丹広域振興局長、中丹広域振興局長、丹後広域振興局長、京都府新型コロナウイルス感染症対策専門家会議議長及び京都市危機管理監

#### 4 議事録

##### 【危機管理監】

- ・京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催します。
- ・本日は、最近の感染状況等を踏まえ、今後の対応について協議いただくこととしています。
- ・それでは西脇知事に会議の進行をお願いします。

##### 【知 事】

- ・今年一年お世話になります。よろしくをお願いします。
- ・まずは、オミクロン株の市中感染が確認されました。年末年始の状況においても、医療現場の第一線で御奮闘いただいております医療従事者の皆様に、心から感謝を申し上げます。
- ・国内では、11 月 30 日に初めてオミクロン株の陽性が確認されて以来、国が水際対策の強化をしています。京都府としても、国の要請を受けて、航空機の濃厚接触者の方の宿泊療養について対応するとともに、京都府独自の措置として、陽性者の方全員に一旦入院していただくという慎重な対応を行ってきました。
- ・府内でも 12 月 23 日に初めてオミクロン株の市中感染が確認され、これまでに 52 人のオミクロン株感染が確認されています。本日の京都府の新規感染者数は 30 人、7 日間移動平均は 22.86 人、前週比が 2.03 倍ということで、12 月下旬以降、少しずつ感染者が増加しているのではないかと思います。
- ・本日はこうした状況を踏まえ、今後の対応について、議論したいと考えています。まず、最近の感染状況等について、健康福祉部長から御報告をお願いします。

##### 【健康福祉部長】

※資料 1 に基づき報告

##### 【知 事】

- ・続きまして、今の感染状況を踏まえた対応について、健康福祉部長から御説明をお願いします。

### 【健康福祉部長】

※資料2に基づき説明

#### 【知 事】

- ・私から一つだけ、補足をします。オミクロン株感染者の全員入院措置について、今並行して行われている総理の記者会見の中で、見直しについての言及がありました。いずれ具体的になると、デルタ株等と同じような、症状に合わせた対応になると思っておりますが、今のところ、通知上はこうだと補足しておきます。
- ・それでは、ここまでの説明について、松井議長から御助言をお願いします。

#### 【専門家会議議長】

- ・先ほど専門家の皆様と意見交換をさせていただきました。既に第六波が始まっていると認識して、対応したいと思っております。
- ・これまで新しい変異株ということで慎重な対応をしてきましたが、オミクロン株はそれほど重症化リスクが高くありません。また、感染拡大に備えて、本当に入院が必要な人に病床を空けるために、今回の入院の取扱の変更について、賛成させていただきます。
- ・デルタ株の時と同じように、これからデルタ株からオミクロン株へ速いスピードで置き換わっていくことが予想されます。スピード感を持った早めの対応、臨機応変な対応が必要です。是非今後、迅速な対応をお願いしたいと思っております。以上です。

#### 【知 事】

- ・オミクロン株は元々感染力が強く、感染のスピードも速いです。スピード感を持って対応することが極めて重要だと思っております。その点、心してかかる必要があると思っております。
- ・次に、京都市の三科危機管理監から、御意見をよろしくお願いします。

#### 【京都市危機管理監】

- ・本年もよろしく申し上げます。データ上、デルタ株、オミクロン株の両方が増加傾向にあります。オミクロン株が台頭してくるであろう状況で、第六波の入口に入ったという認識で、非常に警戒を強めているところです。
- ・陽性者の入院対応の変更について、オミクロン株が市中感染をしていることや、経口薬が使えるようになったことで、現状に合った妥当な運用を図れるようになったと思っております。また、今後の断続的な運用が大事になってくると認識しています。
- ・京都市も保健所業務を通して、府としっかりと連携を図っていきたいと思っております。逼迫のない運用、三回目のブースター接種について、既に全庁をあげて体制を構築しているところです。
- ・オミクロン株が医療に与える影響が分かりにくく、不透明な中で、今後、レベル判断等、非常に難しい局面が予測されます。これまで、先行きが非常に不透明な中で、二年近く府市連携で取り組んできた基盤を生かして、引き続き難局を乗り越えていきたいと思っております。よろしく申し上げます。以上です。

## 【知 事】

・臨機応変な対応が必要であると思っています。今のところ、オミクロン株感染者、濃厚接触者等を含めて、医療機関の前段階として、保健所業務に非常に負荷がかかっています。京都市の保健所には、第五波の体制を維持していただいておりますので、引き続きよろしくお願ひしたいと思ひます。

・その他に、御意見等がなければ、オミクロン株陽性者の入院の扱いについて、国からの方針に従うことも含め、事務局案によって、今後の対応を進めていきたいと思っています。他に報告事項がなければ、本日の会議の総括を申し上げます。

・まずは、これまで第三波から第五波という大きな波を乗り越えてきました。医療提供体制の拡充、市町村、関係機関の御協力によるワクチン接種等、皆様の御協力によって進めてきました。その御協力に対して、心から感謝を申し上げます。

・緊急事態措置の解除後、感染者数は減少を続け、落ち着いた状況が続いていましたが、年末年始にかけて、拡大傾向となっています。オミクロン株の市中感染と思われる事例が、京都府では52人ですが、全国では20を超える都道府県で発生しています。京都府内では、クラスター案件も2件出ていますので、今後の急速な感染拡大に備えて、スピード感を持って対応していく必要があると思っています。そのためにも、本日決定した取組を確実に実行していくことが必要です。

・この後、府民の皆様に対しては、会見で私から呼びかけをしますが、関係部局におかれては、保健所、宿泊療養施設の体制強化、病床の拡充、陽性者に係る入院対応等、速やかに実施するとともに、治療薬の投与、感染に不安を感じる方の無料検査の実施等、万全の対応をよろしくお願ひしたいと思ひます。

・年初早々大変ですが、何卒緊張感を持って対応していただくよう、よろしくお願ひします。私からは以上です。

## 【危機管理監】

・関係の部局長におかれましては、先ほどの指示事項を踏まえ、万全の取組をお願いします。

・松井議長、三科危機管理監におかれましては、お忙しいところ、御出席をいただきまして、誠にありがとうございました。

・以上をもって、対策本部会議を終了します。